

農作物病害虫発生現況情報（8月）りんどう編

1 葉枯病

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生圃場率は53.8%（平年23.6%）、採花部での発生圃場率は30.8%（平年7.2%）であり、いずれも平年より高かった（図1）。

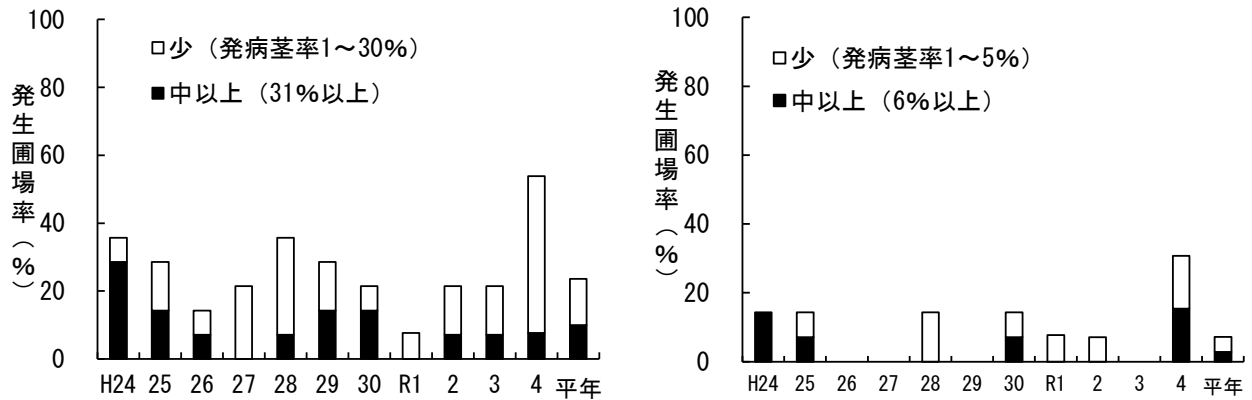


図1 葉枯病の発生圃場率の年次推移（左：発生茎率、右：採花部での発生茎率、8月下旬）

2 褐斑病

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年2.9%、図2）。

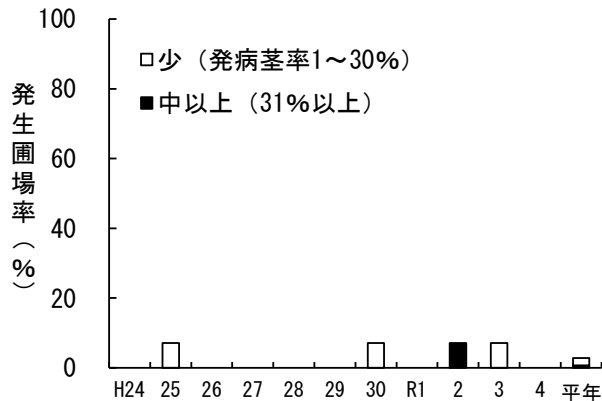


図2 褐斑病の発生圃場率の年次推移（8月下旬）

3 花腐菌核病

- (1) 8月第5半旬に、八幡平市で子実体Ⅲ型が確認された。
- (2) 8月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった。

4 ハダニ類

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生圃場率は30.8%（平年29.5%）で平年並であり、発生程度の高い圃場や寄生虫数の多い圃場は確認されなかった（図3）。

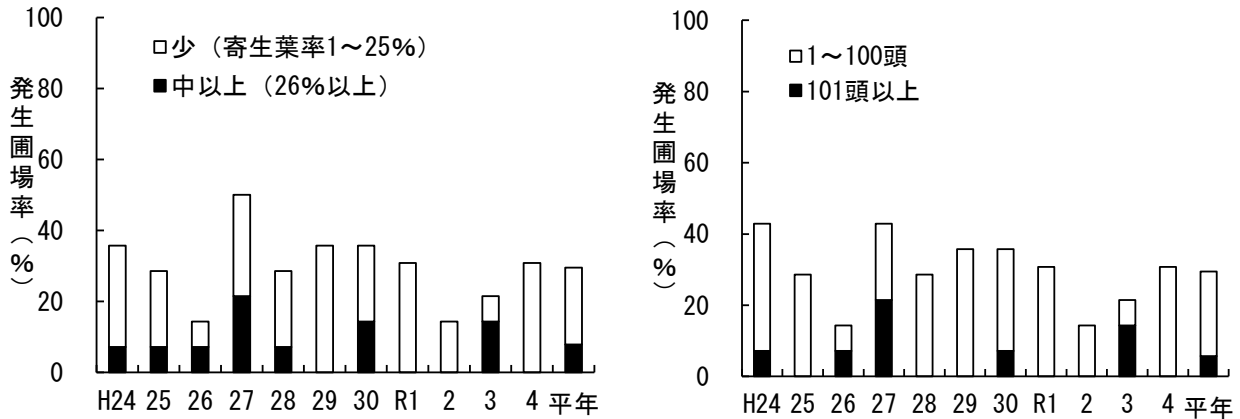


図3 ハダニ類の発生圃場率の年次推移（左：寄生葉率、右：寄生虫数/80葉中、8月下旬）

5 リンドウホソハマキ

(1) 8月下旬の巡回調査では、潜葉痕の発生圃場率は7.7%（平年42.3%）で平年より低く、生長部および茎部の被害は確認されなかった（平年20.2%、図4）。

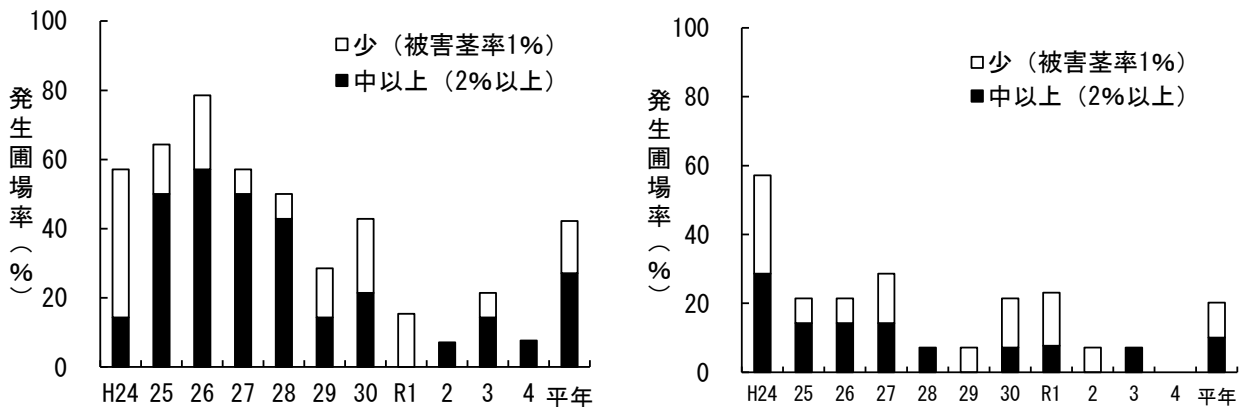


図4 リンドウホソハマキの発生圃場率の年次推移（左：潜葉痕、右：生長部・茎部、8月下旬）

6 アザミウマ類

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生圃場率は62.5%（平年75.9%）で、平年よりやや低かった（図5）。

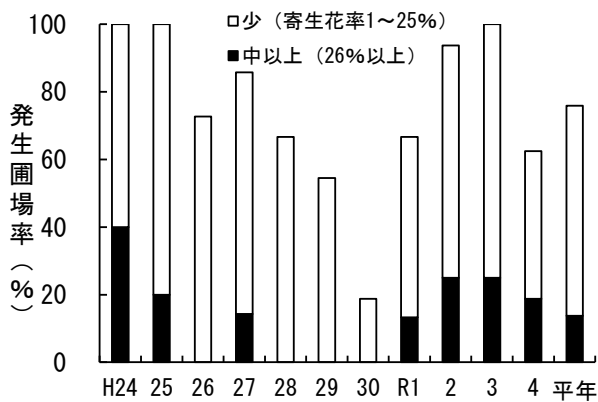


図5 アザミウマ類の発生圃場率の年次推移（8月下旬）

7 アブラムシ類

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった。